

とっとり県民カレッジ連携講座

令和5年度因伯名刀フォーラム特別編

# 甲由月

武士の芸術の  
魅力に迫る

令和6年

2/17 土

13:00~15:30

会場 鳥取県立博物館講堂

定員

100名

要・申込

参加無料

牡丹獅子文金唐革包腰取二枚胴具足  
(池田慶栄所用) [鳥取県立博物館所蔵]

主催 / 鳥取県

後援 / 鳥取市教育委員会、日本海テレビ

日本独自の甲冑は、武士が歴史の表舞台に登場する平安時代後期に誕生して以降、戦いのあり方や武器の変化に対応して進化し、合戦で身体を守る武器としての実用性はもちろん、内に秘める闘志や美意識を誇示するための装飾性が求められました。また甲冑は刀剣と同じく武士に必須の武器であるだけでなく、戦勝祈願等のため神社へ奉納される対象にもなりました。

太平の世となった江戸時代には武家の歴史や格式を示す象徴として扱われ、工芸技術の粋を集めた華やかな武具が製作されます。鳥取藩池田家にも、藩主の所用あるいは奉納とされる甲冑が伝来しており、32万石の大名家の格式を現代に伝えています。

本フォーラムでは、日本における甲冑の歴史を紐解きながら、鳥取藩ゆかりの甲冑の構造や意匠及び関連資料を通して、武士の芸術ともいえる甲冑の魅力に迫ります。



11代藩主・池田慶栄画像 [鳥取県立博物館所蔵]

## 講師



さとう ひろあき

## 佐藤 寛介 氏 (東京国立博物館学芸企画部企画課特別展室長)

専門は日本考古学。岡山県古代吉備文化財センター、岡山県立博物館を経て、現在、東京国立博物館学芸企画部企画課特別展室長。刀剣・甲冑研究の第一人者であり、令和4年に開催された東京国立博物館創立150年記念 特別展「国宝 東京国立博物館のすべて」の企画・展示を担当。

## ◆主な著書

『備前刀 日本刀の王者』(佐藤寛介・植野哲也共著：岡山文庫)、『日本の甲冑 東京国立博物館レクシオン』(東京国立博物館) など

## 次第

12:30

開 場

13:00-13:05

開 会

13:05-14:05

講 演 「日本甲冑の特質—機能性・装飾性・象徴性」

佐藤 寛介 氏 (東京国立博物館学芸企画部企画課特別展室長)

14:05-14:20

休 憩

14:20-15:30

ディスカッション 「鳥取藩の甲冑～その特徴と魅力に迫る～」

パネリスト 佐藤 寛介 氏

来見田博基 氏 (鳥取県立博物館主任学芸員)

大垣 舞 氏 (元日本海テレビアナウンサー)

コーディネーター 高尾 浩司 (鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課課長補佐)

15:30

閉 会

## 申込方法

●とっとり電子申請サービスから予約申し込み

●ファクシミリでの申し込み

「令和5年度因伯名刀フォーラム参加申し込み」として氏名、電話番号(緊急連絡用)を記載し、下記問合せ先(ファクシミリ番号:0857-26-8128)に送信ください。



【申込〆切】令和6年2月15日(木)

## ◆ 連携企画 ◆

鳥取県立博物館常設展 歴史・民俗展示室「歴史の窓」コーナー

「おかえり!トノサマアーマー ~藩主甲冑里帰り展~」

県立博物館が令和5年度に新たに収集した鳥取藩池田家11代藩主池田慶栄の甲冑を関連史料とともに初公開!

展示期間 令和6年1月23日(火)~3月3日(日)〈要入館料〉



◎JR鳥取駅からバスで

①100円バス「くる梨」(緑コース)で「①仁風閣・県立博物館前」下車すぐ

②ループ麒麟獅子(土・日・祝のみ)で「③鳥取城跡」下車すぐ

④砂丘、湖山、賀露方面行「西町」下車約400m

⑤市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車約600m

◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分

◎鳥取空港から…鳥取駅行連絡バスで「湯所」下車約700m

◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分

○博物館駐車場40台駐車可能 ※なるべく公共交通機関をご利用ください